



第 2 四 半 期 決 算 説 明 会

2009年(平成21年)11月20日

ネツレン

高周波熱錬株式会社

I 経営推移と今後の事業展開

II 第11次中期経営計画「革新への挑戦と飛躍・65」(仮称)

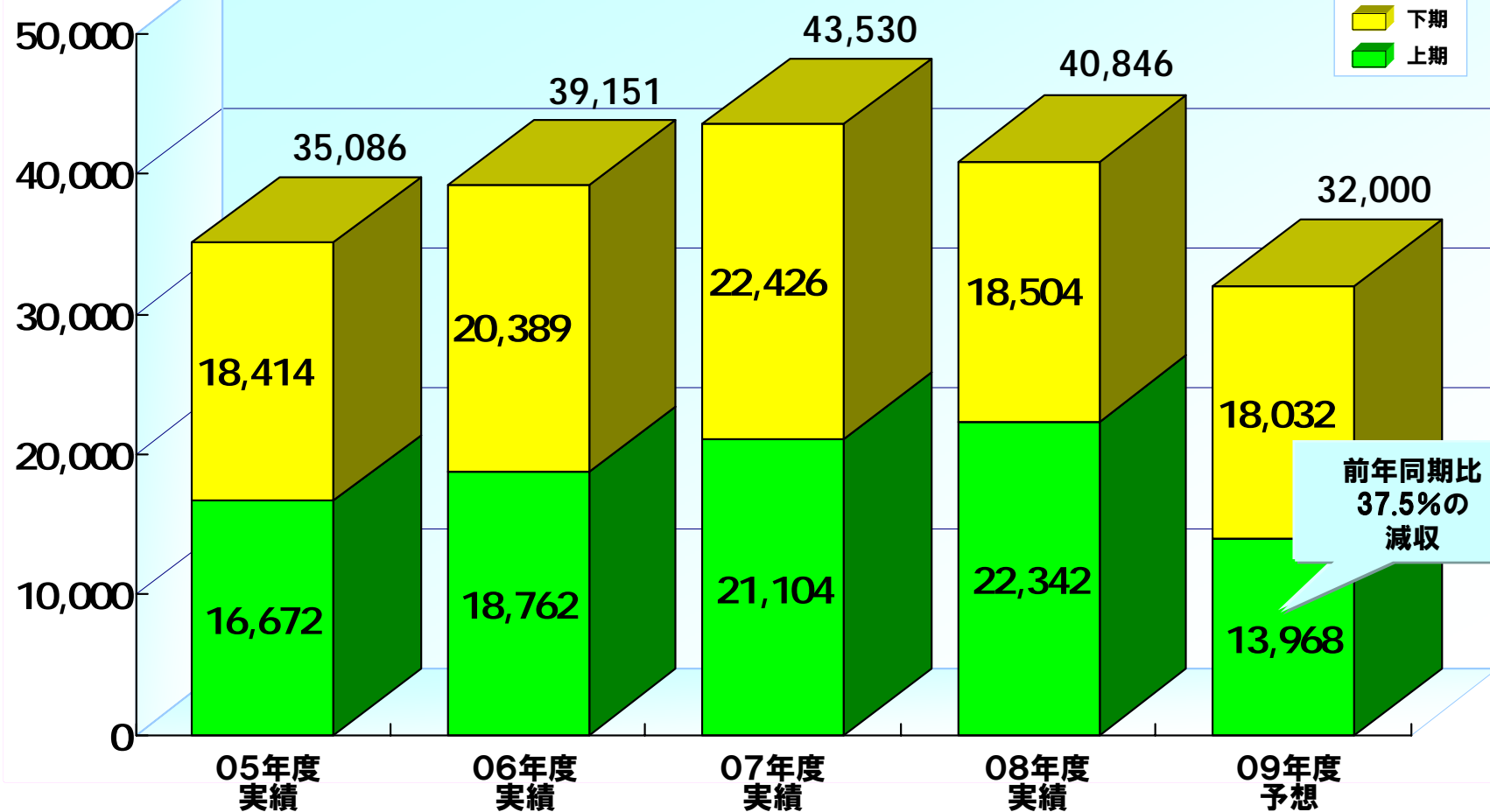
III 2010年(平成22年)3月期第2四半期連結決算の概要



I 経営推移と今後の事業展開

1 連結売上高

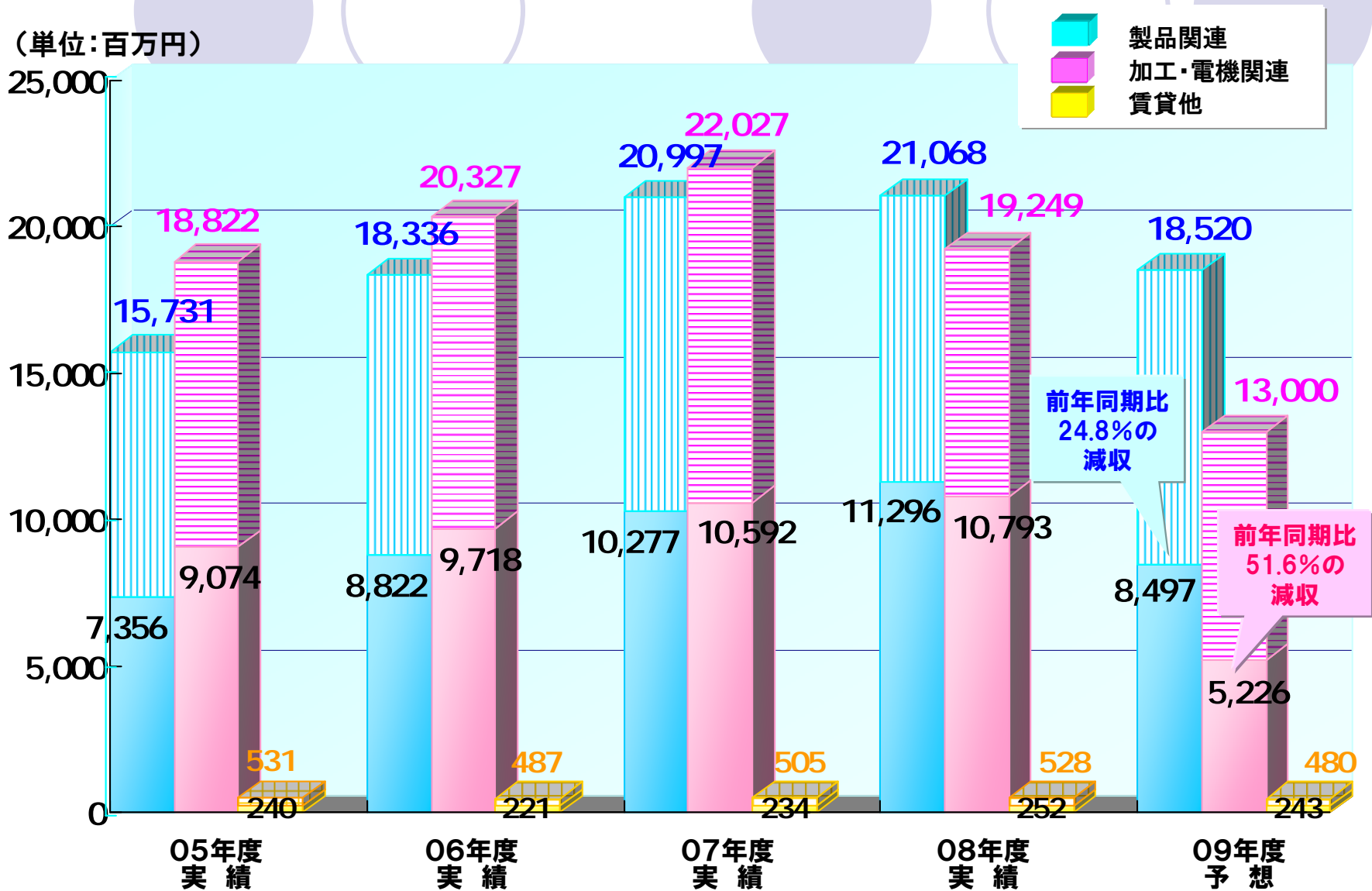
(単位:百万円)



前年同期比
37.5%の
減収

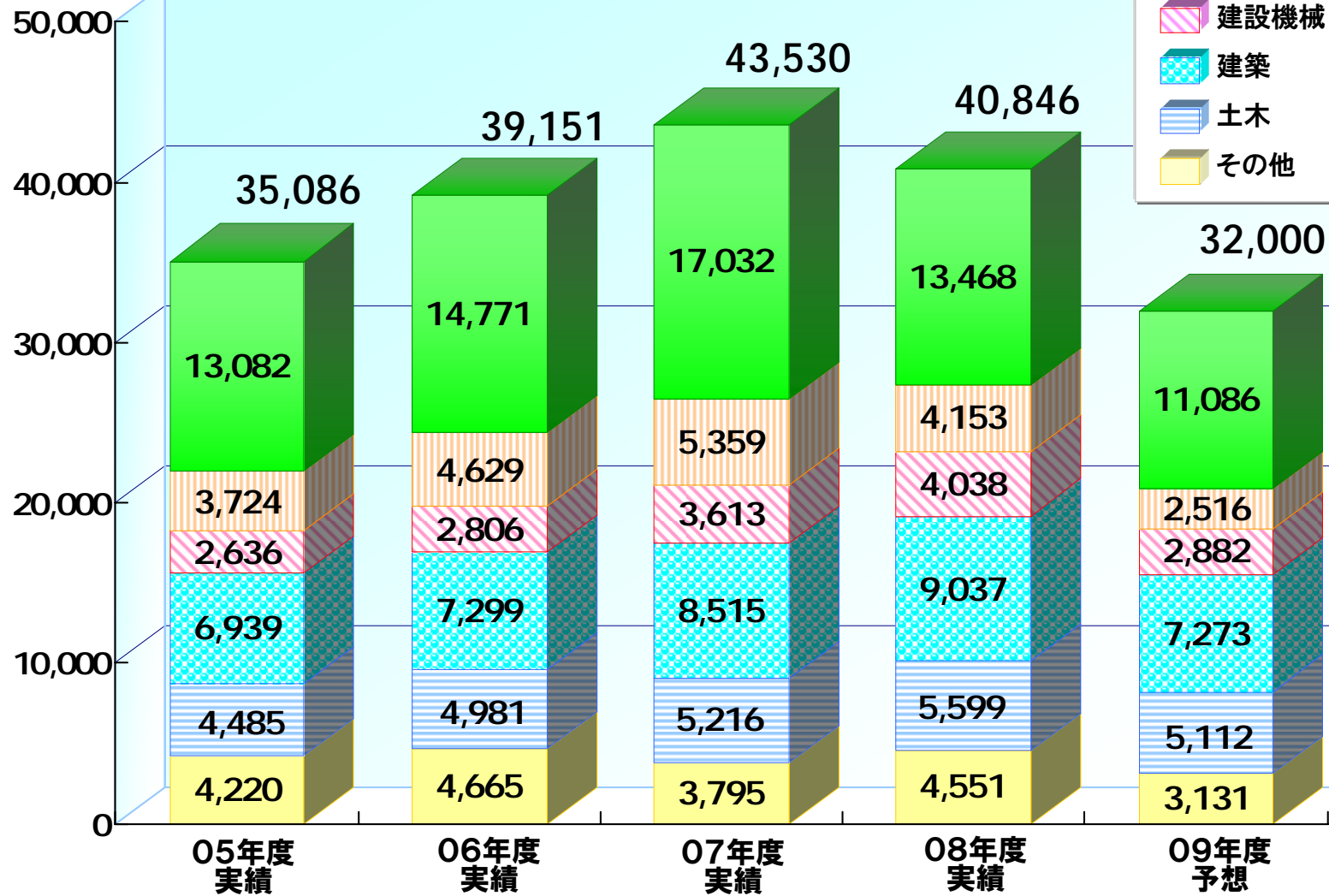
第10次中期経営計画 第11次中期経営計画

2 事業の種類別セグメント情報(連結売上高)



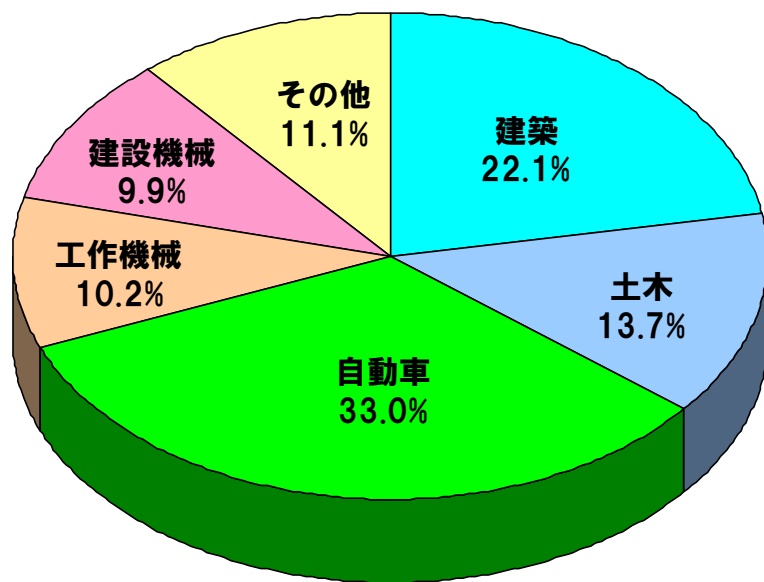
3 業界別売上高

(単位:百万円)

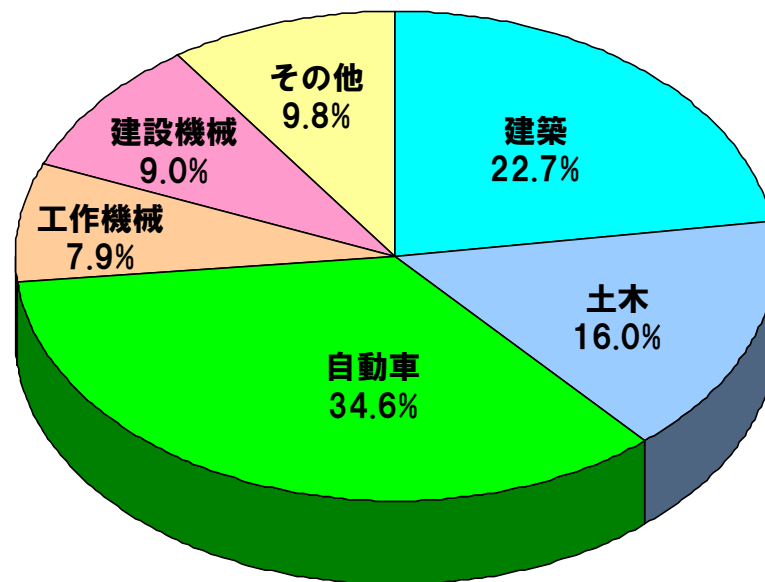


4 業界別売上高の推移

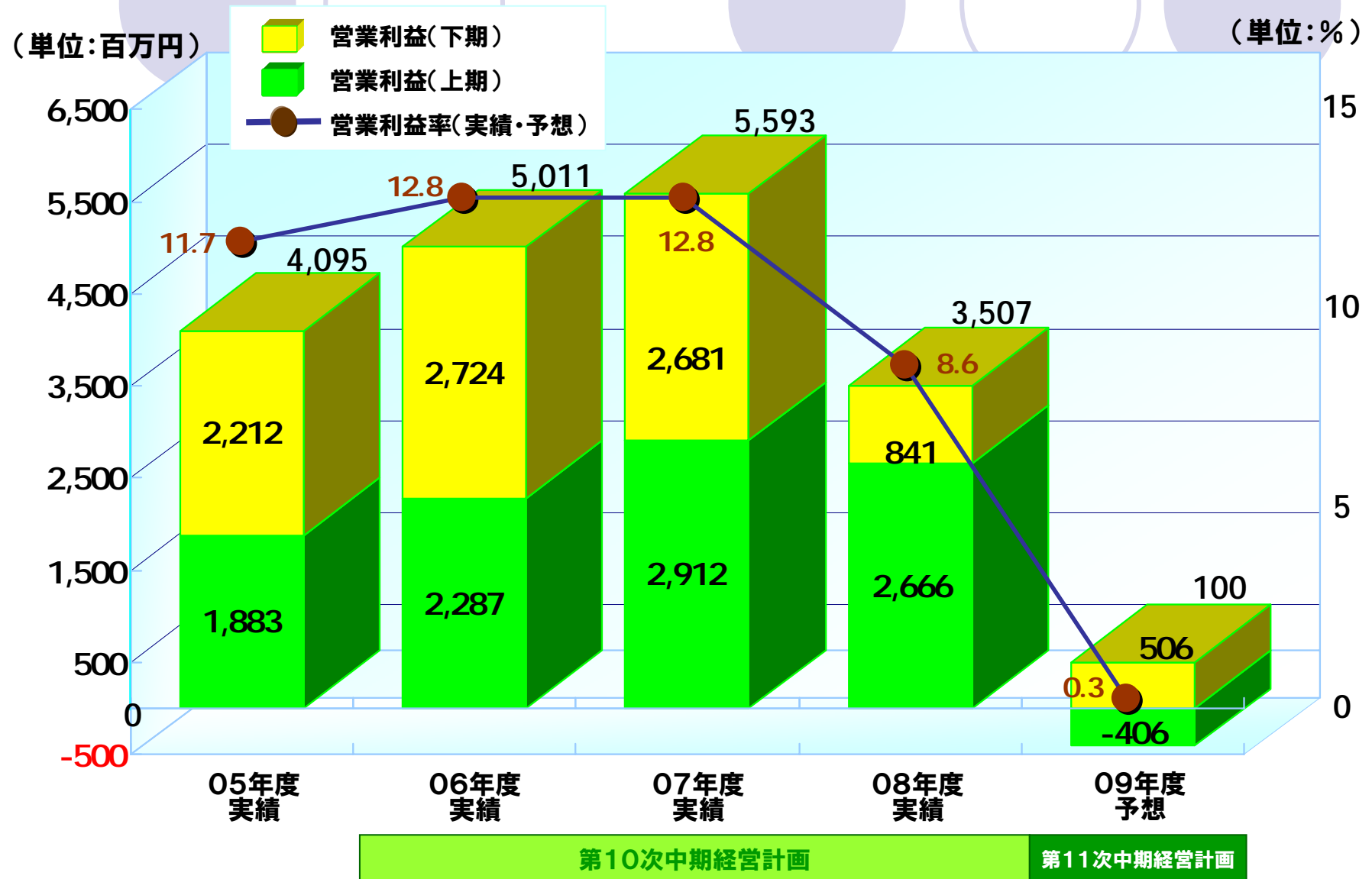
2008年度実績



2009年度予想



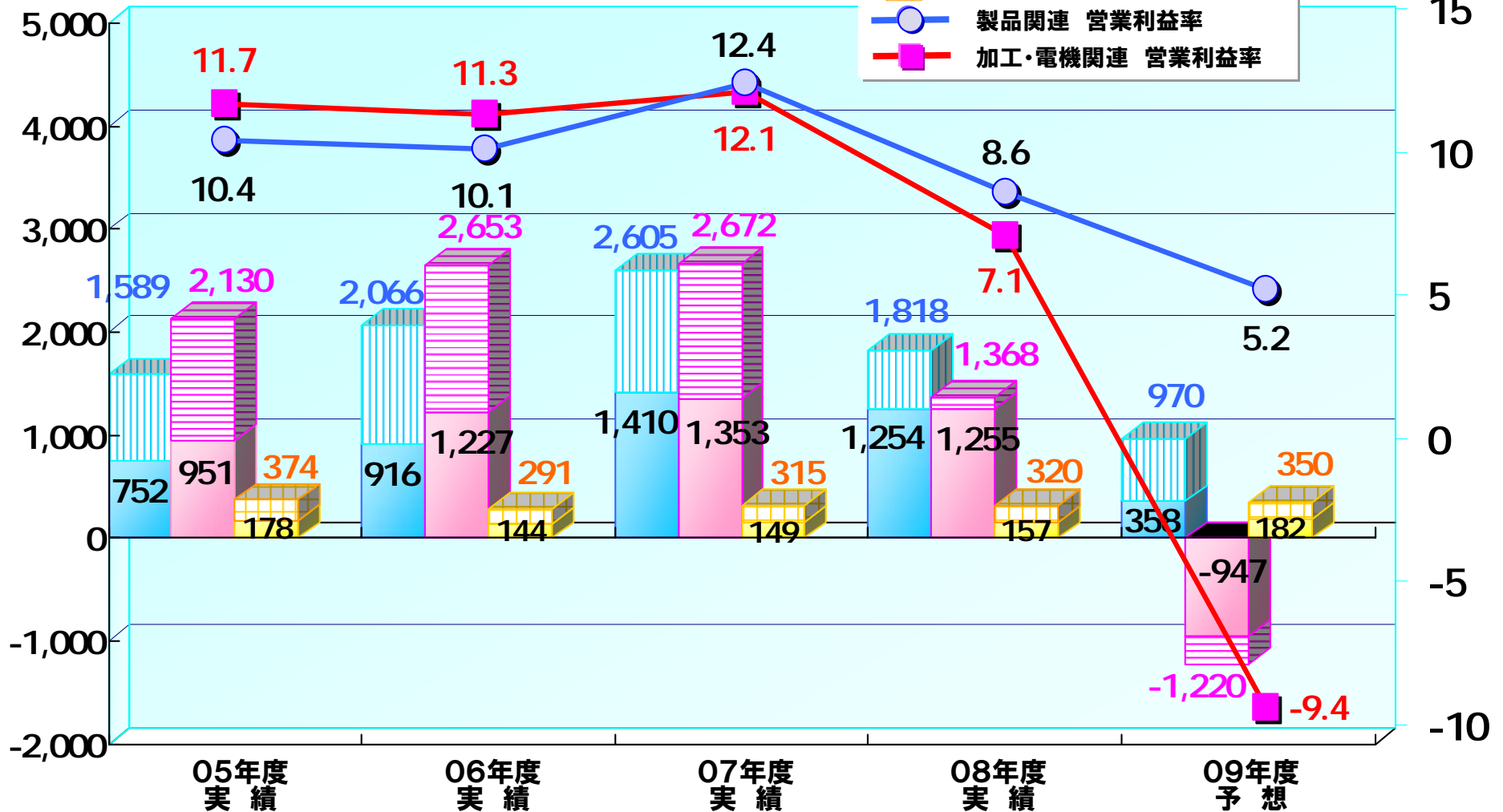
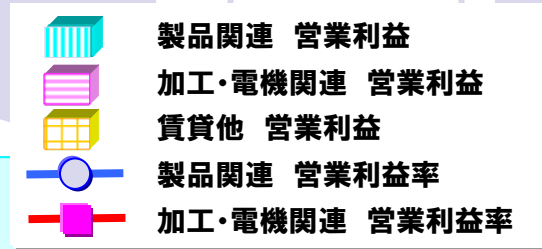
5 営業利益・営業利益率



6 事業の種類別セグメント情報 (営業利益・営業利益率)

(単位:百万円)

(単位:%)

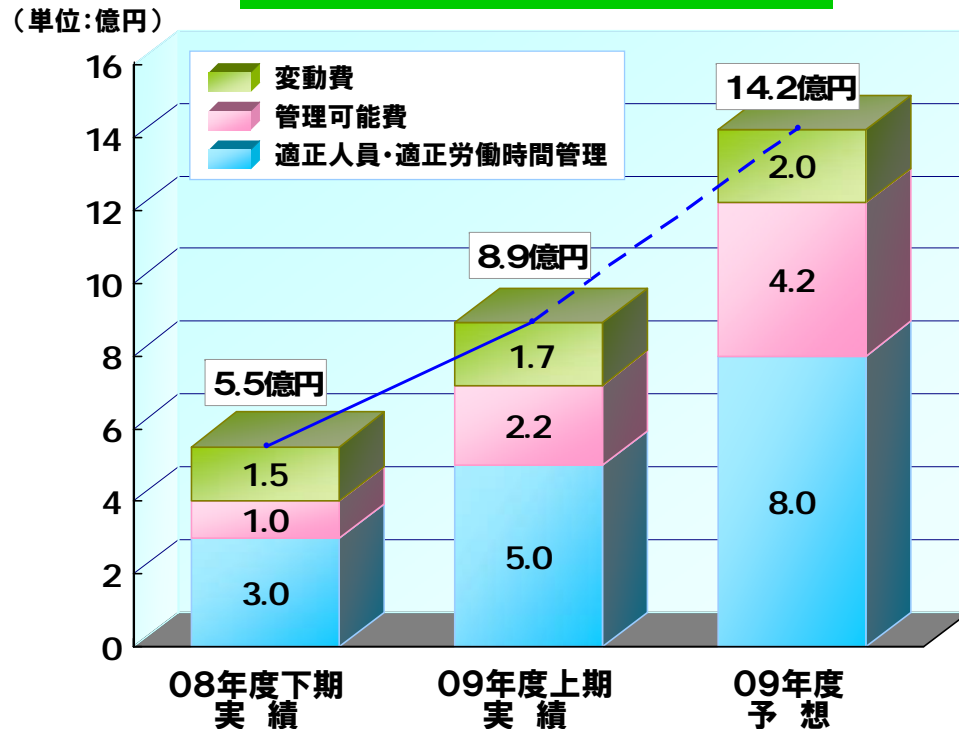


7 緊急経営改善策の実施

原価管理委員会の設置と全社横断的な原価改善

“聖域なきコストダウンと全ての業務効率化の実現”

ネットレン個別 原価改善の推移



・適正人員・適正労働時間管理への取り組み

⇒ 受注回復においても人員と時間外の抑制に努力

・管理可能費の削減

⇒ 継続して支出を抑制

・変動費の削減(生産性改善)

⇒ 原単位維持・改善に注力

実績・予想は、対07年度実績との比較による。

発想を変えた更なるムダの排除と単価・原単位の改善！

8 生産革新活動の取り組み

スローガン：『モノづくり“ネットレン・ウェイ”の徹底』

～ 原価革新を目指した生産革新活動 ～

目 標： 人生産性の維持と改善 品質保証の徹底

対象部門： 2事業部10工場と管理本部（本社部門）

【09年度上期の投資と成果】

項 目	成 果
投 資	0.6億円
利 益 効 果	※約1.2億円
資 産 効 果	約0.8億円
リードタイム短縮	維持（受注変動に対して）
人財の育成（改善マイスター等）	23名を育成中

※緊急経営改善策の実施に伴う適正人員・適正労働時間管理への取り組みの成果は含まない。

今後の事業展開

- 1. 新商品・新技術の開発・拡販**
- 2. 新規事業の推進**
- 3. 設備投資・研究開発投資**
- 4. 配当政策**

9 新商品・新技術の開発・拡販

1. 新商品の開発・拡販

- (1) 新評価による高強度せん断補強筋1275(ウルボン)の建築分野および土木分野への拡販
- (2) フロントフォークインナーチューブの加工・熱処理の一貫受託加工による拡販
- (3) 電動パワーステアリング用中空ラックバーの開発
- (4) ウルトラ焼入装置・ウルトラ電源装置の開発



高強度せん断補強筋1275



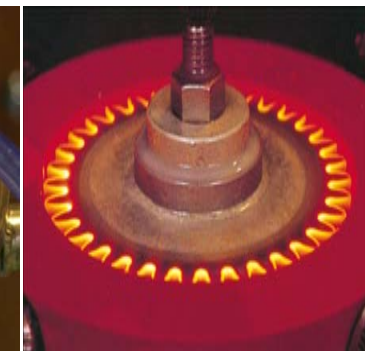
中空ラックバー

2. 新技術の開発・拡販

- (1) 2周波熱処理応用技術の拡販
- (2) 超急速加熱焼入れ(SRIQ)応用技術の拡販
(SRIQ: Super Rapid Induction heating and Quenching)
- (3) 大型リング部品の継ぎ目無し焼入れの開発
- (4) 加工技術の開発(先端加工技術センターの活用)



2周波熱処理



超急速加熱焼入れ

10 新規事業の推進

1. 建設機械・風力発電部品熱処理加工専用工場の立上げ

- (1) 加賀分工場(石川県加賀市) : 2009年 6月操業開始
- (2) 宝達志水分工場(石川県羽咋郡) : 2009年10月操業開始

2. 軸肥大加工の事業化

- (1) 自動車・建設機械・工作機械用部品
- (2) 幅広い材料への軸肥大加工の展開
(鋼材・SUS材・銅材・チタン材 等)



軸肥大加工

3. 大型旋回輪・歯車熱処理加工の事業化

- (1) 尼崎工場の積極活用

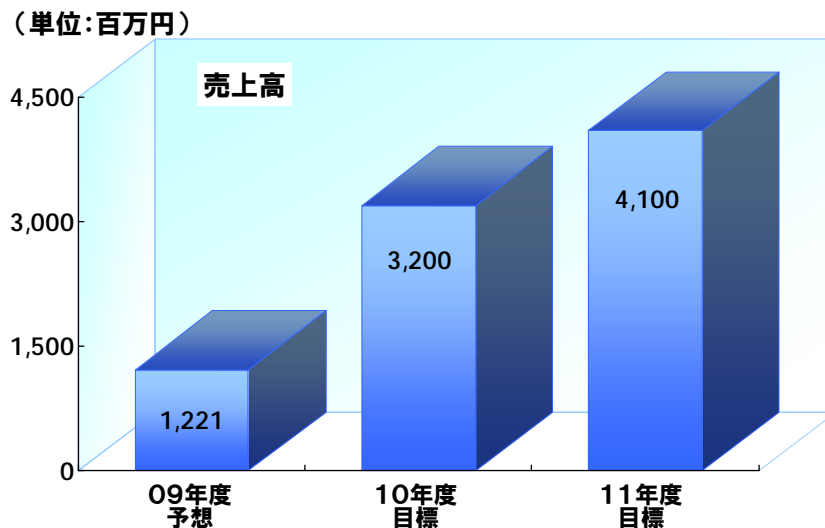


大型旋回輪

11 神戸工場の本格稼働

加工・熱処理・組立一貫受託加工 (歯切・熱処理・穴あけ・旋削・組立・塗装)

1. 建設機械用小型旋回輪生産体制の確立と安定操業
2. 設備稼働率向上と適正人員への取り組みによる製造原価の低減
3. 中型旋回輪の受注



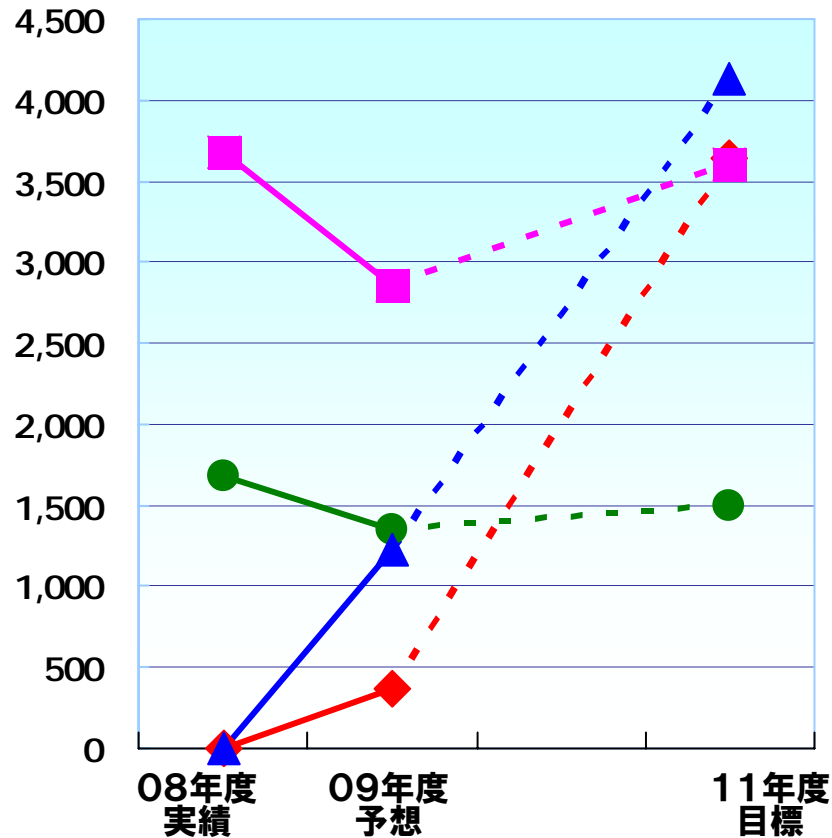
神戸工場

12 新商品・主要商品・新規事業売上高

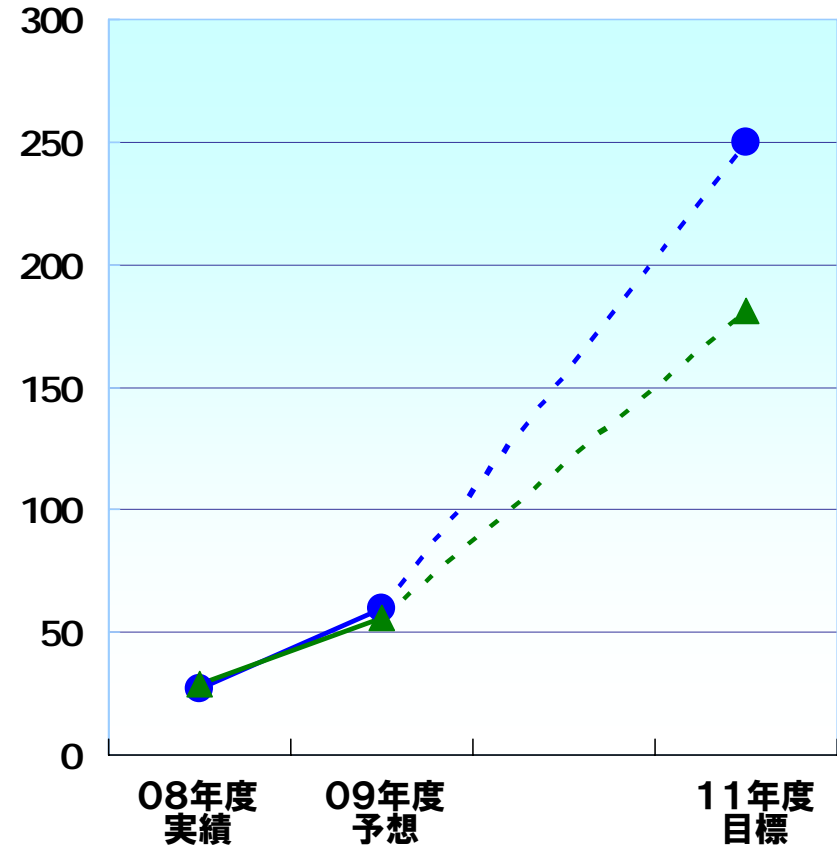
- ◆ - 新評価による高強度せん断補強筋1275
- ● - 中空ラックバー
- ■ - ITW(自動車・産業用)
- ▲ - 一貫(機械加工・熱処理・組立)受託加工

- ● - 軸肥大加工
- ▲ - 大型旋回輪・歯車熱処理加工

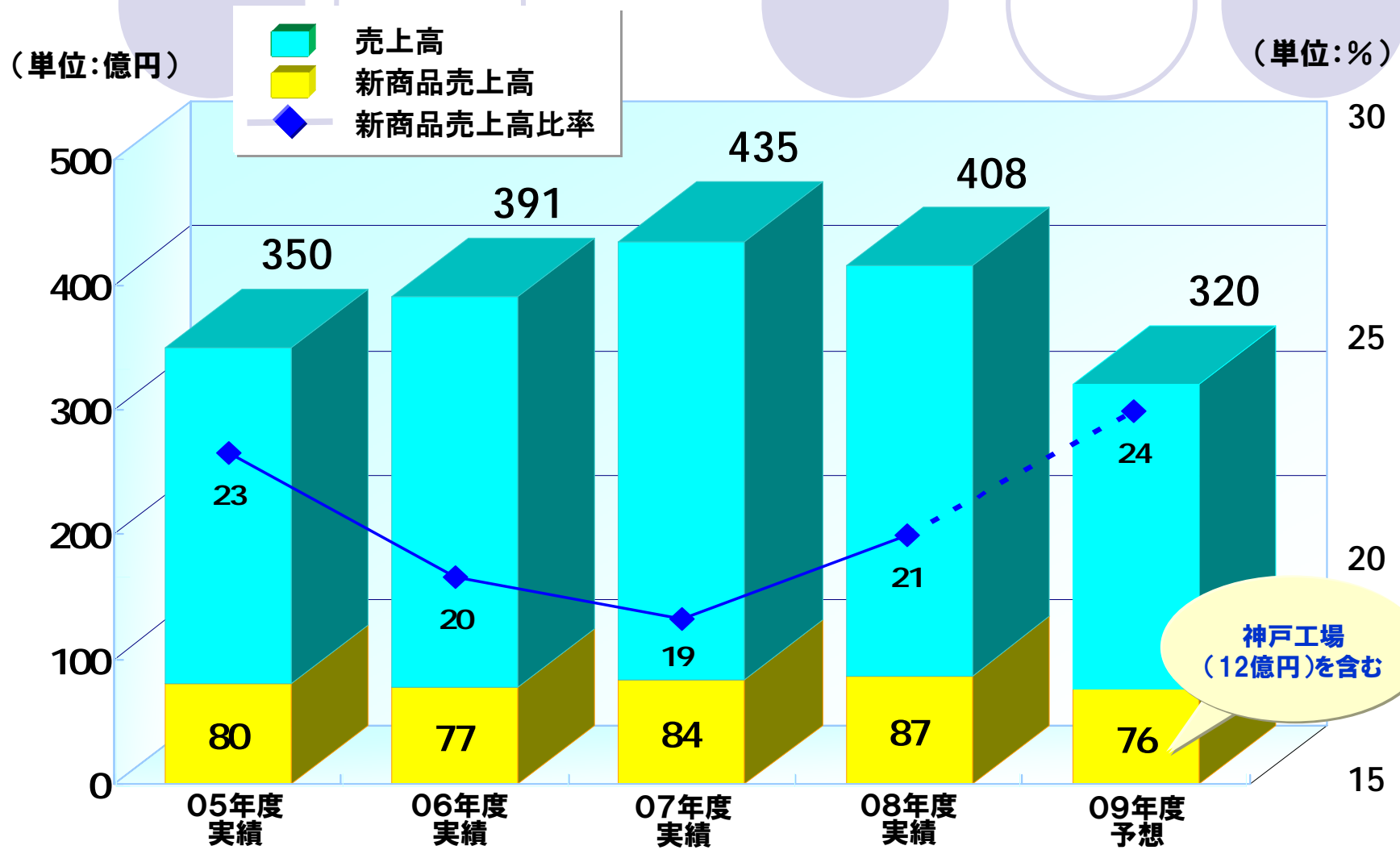
(単位:百万円)



(単位:百万円)



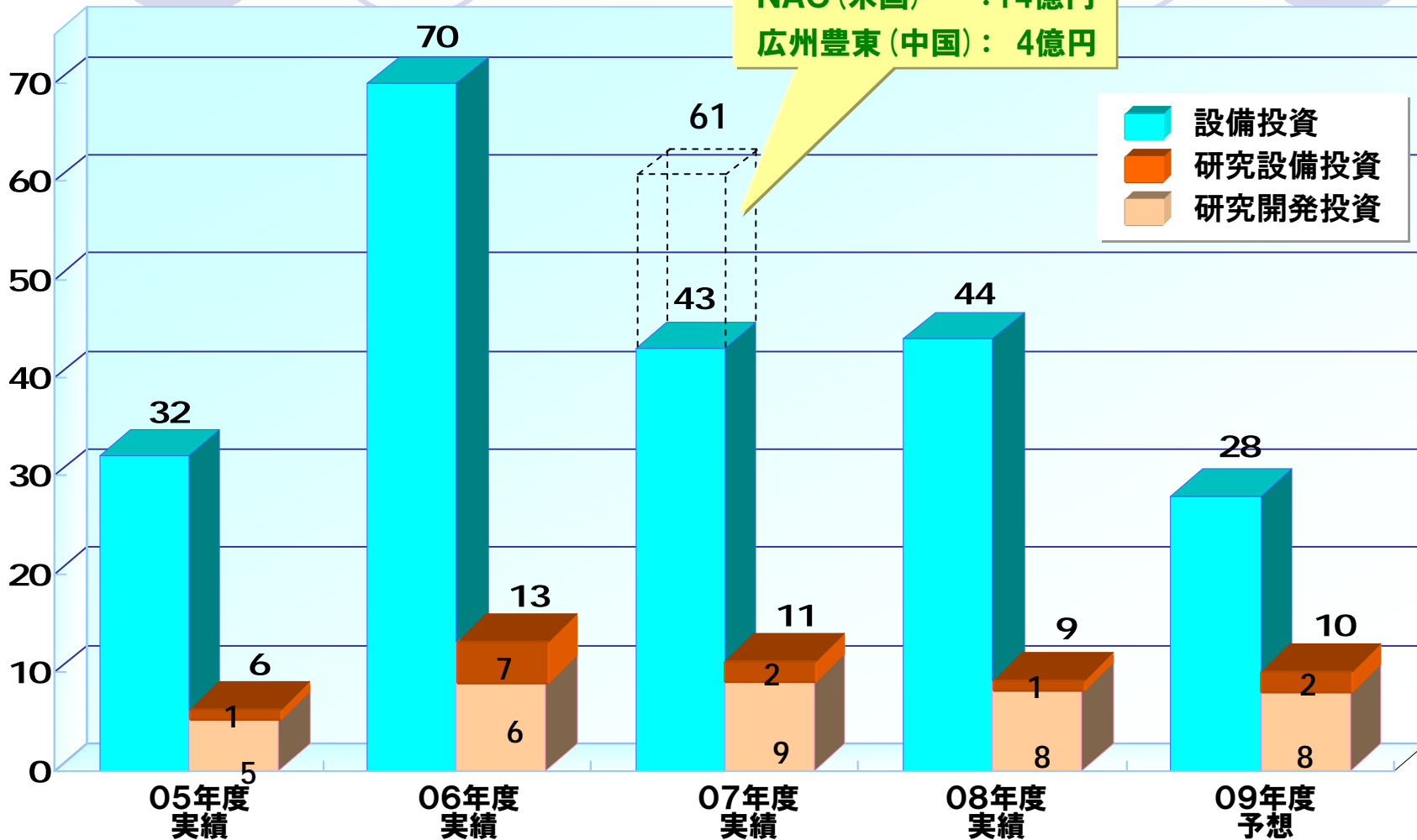
13 新商品売上高



第10次中期経営計画 第11次中期経営計画

14 設備投資・研究開発投資

(単位:億円)

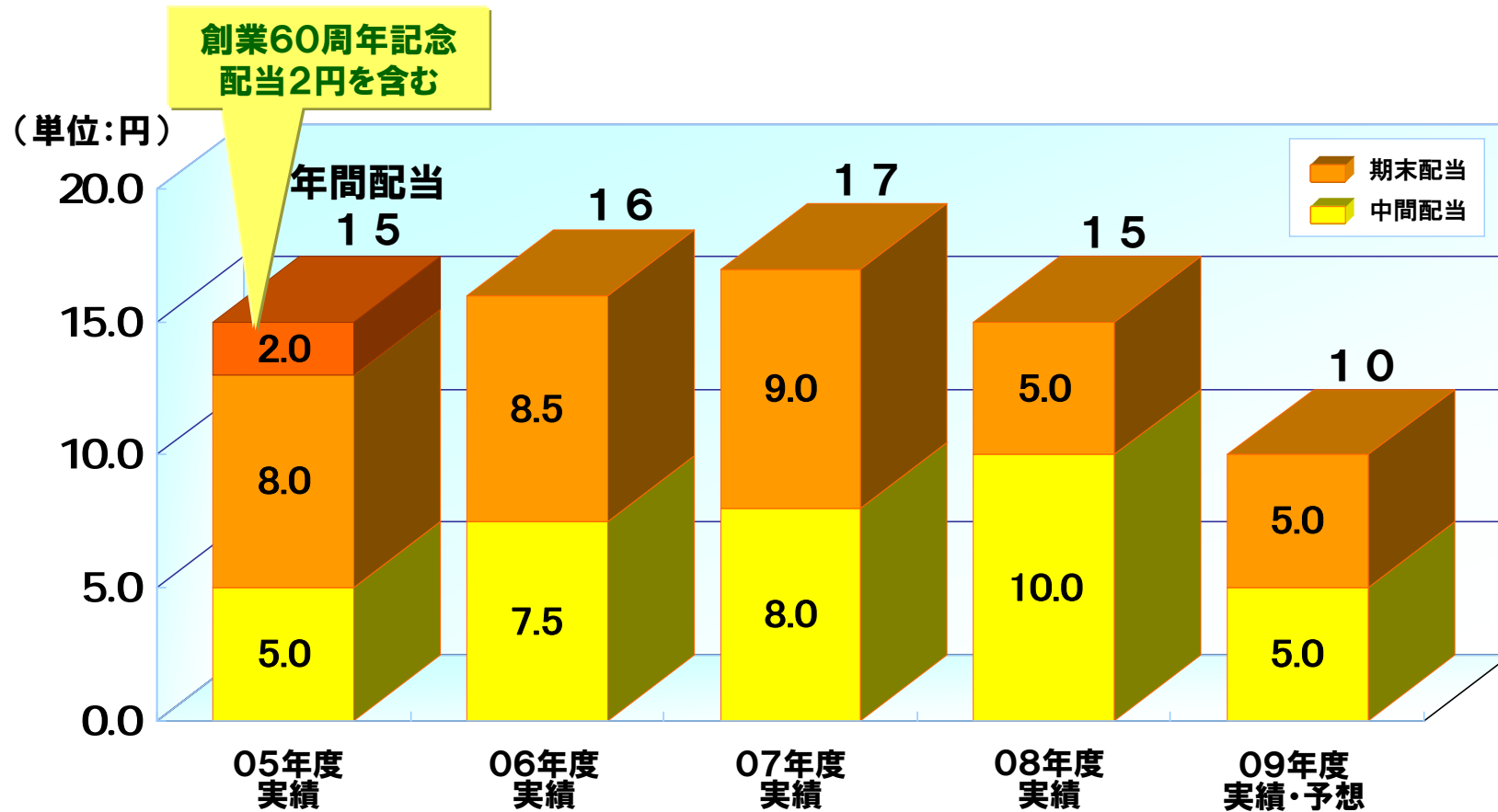


第10次中期経営計画 (05-08年度) | 第11次中期経営計画 (09年度)

15 配当政策

基本方針

当社グループを取り巻く経営環境および業績等を踏まえ、安定した配当にも意を用い、総合的に勘案のうえ、決定していく。





Ⅱ 第11次中期経営計画「革新への挑戦と飛躍・65」(仮称)

16 第11次中期経営計画「革新への挑戦と飛躍・65」(仮称)

第11次中期経営計画の基本方針 (現在策定中)

1. 成長戦略の遂行
2. 事業基盤の強化
3. 高効率化の追求
4. 人財の確保と育成

2011年度
売上高営業利益率
10%以上目標

以上を実行するため「経営改革プロジェクト」を発足させ、経営体質の強化を図る。

経営改革プロジェクトの発足(7分科会)

1. 事業の選択と集中
2. 生産拠点の再編成(関係会社を含む)
3. 革新的原価低減
4. 設備投資の有効性向上と効率化
5. コイル事業の内製化
6. 新商品の市場投入早期化(ウルトラ商品・軸肥大加工他)
7. 人事・労政制度の改革



Ⅲ 2010年(平成22年)3月期第2四半期連結決算の概要

17 2010年3月期第2四半期 連結決算の要点(1)

1. 2010年3月期第2四半期業績は、昨年後半以降の世界同時不況の影響を受け、前年度同期比で売上は減収、損益面では、緊急経営改善策の実施によりコスト削減に努めたものの、主に、売上の減少により、営業利益、経常利益および四半期純利益ともに損失を計上した。
2. セグメント別では、
 - 製品事業部関連事業は、販売量の減少および原材料価格下落に伴う販売価格値下げにより、売上は減収。利益面では、減収に加え、海外連結子会社業績が低下したことにより、営業利益は大幅な減益となった。
 - 加工・電機関連事業は、自動車関連業界からの受注は緩やかながら回復しつつあるものの、建設機械、また、工作機械業界からの受注が大幅に減少した結果、売上は前年度同期比で約半減、また、損益面では、大幅な損失を計上した。
3. 2010年3月期第2四半期(単独期間)業績は、前第1四半期比で、売上は増収、また営業利益は増益(黒字)となった。先行き不透明感が強いものの、足元は改善している。

18 2010年3月期第2四半期 連結決算の要点(2)

(単位:百万円・%)

	2008年 9月期	2009年 9月期	増 減	増減率	2009年 3月期
売 上 高	22,342	13,968	△8,374	△37.5	40,846
営 業 利 益	2,666	△406	△3,072	-	3,507
経 常 利 益	2,999	△280	△3,279	-	3,887
四半期(当期)純利益	1,885	△266	△2,151	-	1,353

19 2010年3月期第2四半期 連結決算(単独期間)の要点(3)

(単位:百万円・%)

	2009年 3月期 第2四半期	2010年 3月期 第1四半期	2010年 3月期 第2四半期	前年度同期比		前四半期比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
製品事業部関連事業	6,035	4,150	4,346	△1,689	△28.0	196	4.7
加工・電機関連事業	5,830	2,395	2,830	△3,000	△51.4	435	18.2
賃貸他	128	119	124	△4	△3.2	5	4.2
売上高	11,994	6,666	7,302	△4,692	△39.1	636	9.5
製品事業部関連事業	662	6	352	△310	△46.8	346	5,766.7
加工・電機関連事業	688	△563	△384	△1,072	-	179	-
賃貸他	73	89	92	19	26.5	3	3.4
営業利益	1,424	△467	61	△1,363	△95.7	528	-
経常利益	1,597	△395	114	△1,483	△92.8	509	-
四半期純利益	1,095	△177	△88	△1,183	-	89	-

20 事業の種類別セグメント情報(連結売上高)

(単位:百万円・%)

事業区分	主な製品	2008年 9月期	2009年 9月期	増 減	増減率	2009年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 せん断補強筋 ばね鋼線	11,296	8,497	△2,799	△24.8	21,068
加工・電機 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品等	10,793	5,226	△5,567	△51.6	19,249
賃貸事業他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	252	243	△9	△3.3	528
合 計		22,342	13,968	△8,374	△37.5	40,846

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

21 事業の種類別セグメント情報 (連結営業利益)

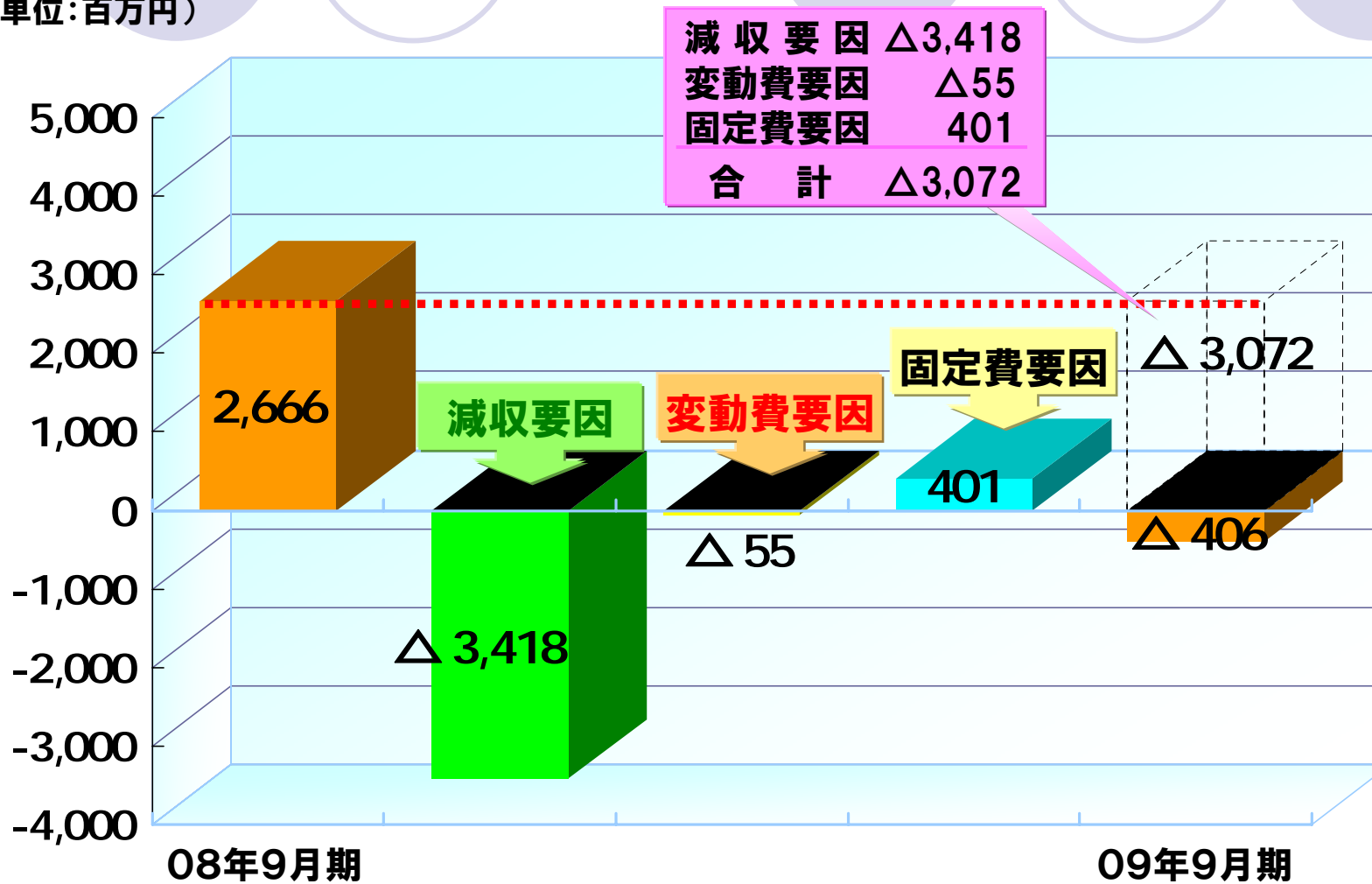
(単位:百万円・%)

事業区分	主な製品	2008年 9月期	2009年 9月期	増 減	増減率	2009年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 せん断補強筋 ばね鋼線	1,254	358	△896	△71.4	1,818
加工・電機 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品等	1,255	△947	△2,202	-	1,368
賃貸事業他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	157	182	25	16.2	320
合 計		2,666	△406	△3,072	-	3,507

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

22 連結營業利益增減內容

(單位:百萬元)



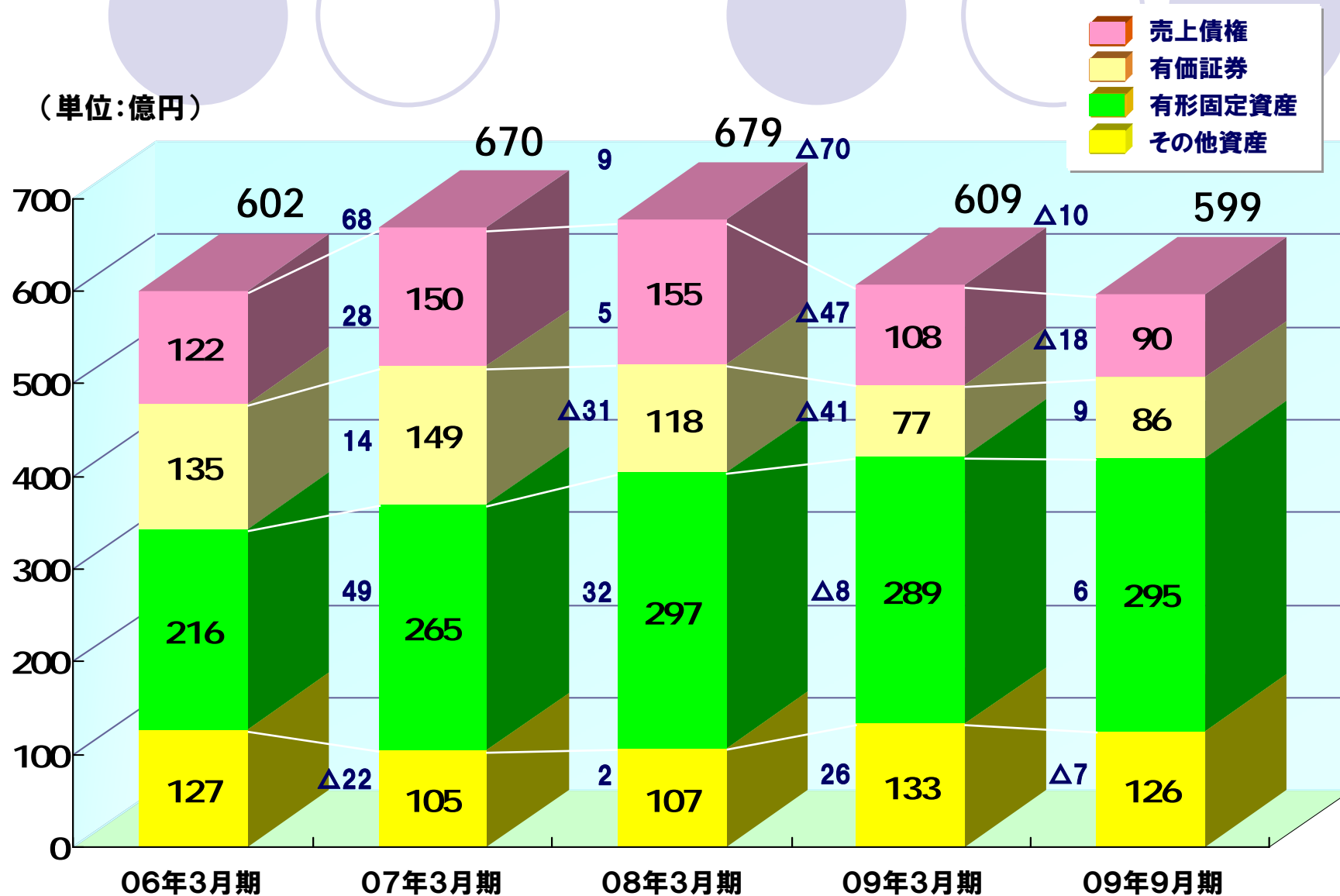
23 比較連結損益計算書

(単位:百万円・%)

科目	期別	2008年 9月期	2009年 9月期	増減	増減率	2009年 3月期
売上高		22,342	13,968	△ 8,374	△ 37.5	40,846
売上原価		16,678	11,877	△ 4,801	△ 28.8	31,842
売上総利益		5,663	2,091	△ 3,572	△ 63.1	9,004
販売費及び一般管理費		2,996	2,497	△ 499	△ 16.7	5,496
営業利益		2,666	△ 406	△ 3,072	-	3,507
営業外収益		400	246	△ 154	△ 38.5	612
営業外費用		67	120	53	79.1	231
経常利益		2,999	△ 280	△ 3,279	-	3,887
特別利益		400	286	△ 114	△ 28.5	619
特別損失		116	432	316	272.4	2,853
税金等調整前四半期純利益		3,283	△ 426	△ 3,709	-	1,653
法人税、住民税及び事業税		1,131	4	△ 1,127	△ 99.6	506
過年度法人税等		-	-	-	-	73
法人税等調整額		-	-	-	-	△ 699
少数株主損益		266	△ 164	△ 430	-	419
四半期(当期)純利益		1,885	△ 266	△ 2,151	-	1,353

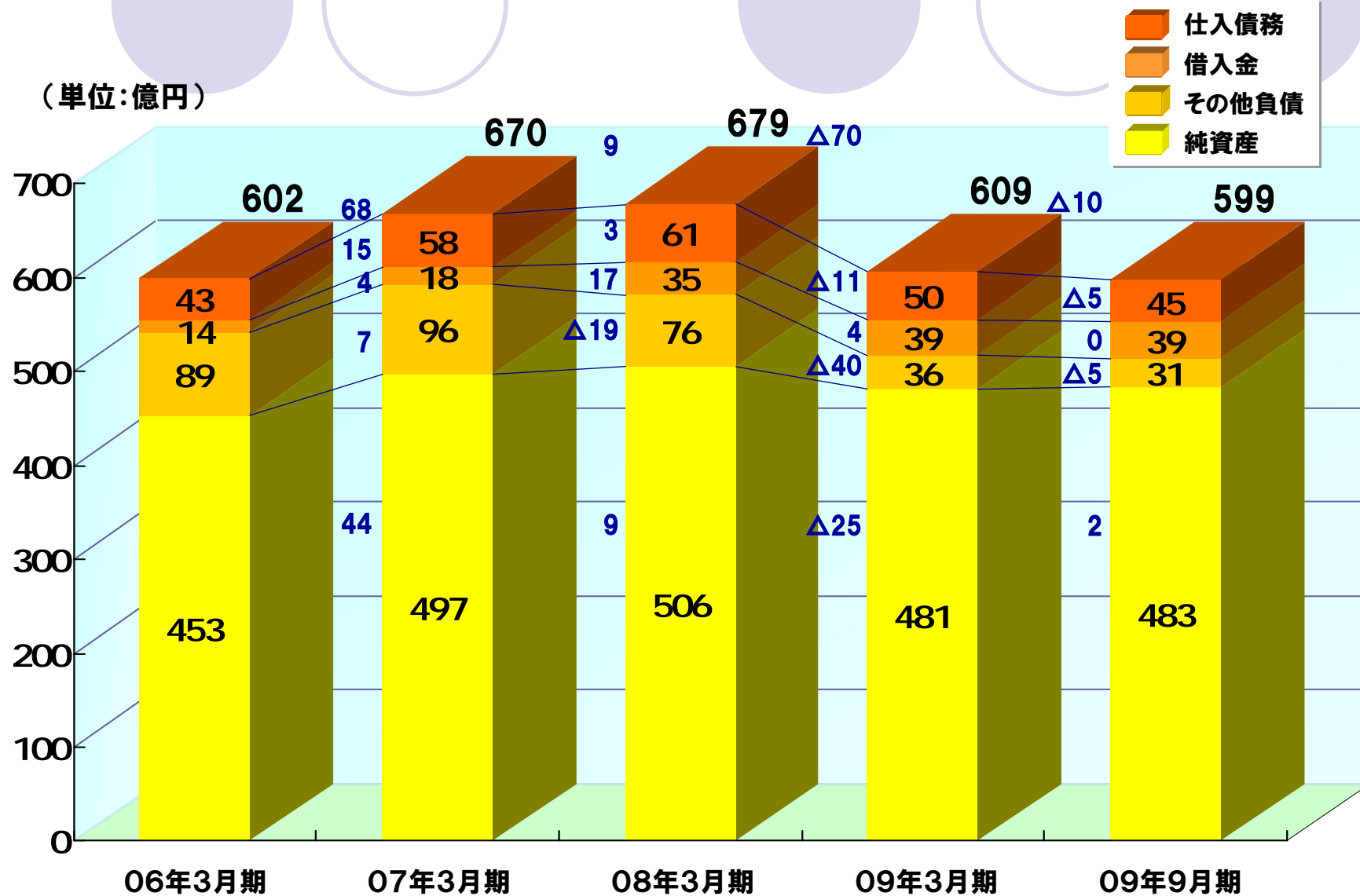
24 2010年3月期第2四半期 資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



25 2010年3月期第2四半期 負債・純資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



26 2010年3月期第2四半期 キャッシュ・フロー(連結)

(単位:百万円)

科 目	2008年 9月期	2009年 9月期	対前年同期比 増 減	2009年 3月期
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,283	△426	△3,709	1,653
減価償却費	1,547	1,448	△99	3,151
売上債権の増減	147	1,820	1,673	4,568
仕入債務の増減	689	△602	△1,291	△979
その他	△2,694	1,309	4,003	△2,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,971	3,550	579	6,071
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,083	△2,818	△735	△4,558
フリーキャッシュ・フロー	888	732	△156	1,513
借入金	790	△51	△841	413
自己株式の取得	△0	△0	0	△301
配当金の支払額	△397	△217	180	△838
その他	120	△6	△126	304
財務活動によるキャッシュ・フロー	513	△275	△788	△422
キャッシュ・フロー四半期末(期末)残高	7,307	7,403	96	6,923

27 2010年3月期 連結決算予想の要点

1. 2010年3月期通期予想については、第2四半期累計期間業績に比べ、第3・第4四半期において業績改善が見込まれるため、売上は前年度比で21.7%の減収、営業利益は1億円の営業黒字を見込む。
2. セグメント別では、
 - 製品事業部関連事業は、本体業績が改善し、前年度比で、売上は12.1%の減収を見込むものの、営業利益は海外連結子会社業績の回復が遅れるため、前年度比で、46.6%の減益を見込む。
 - 加工・電機関連事業は、自動車関連および建設機械業界からの受注が緩やかに回復するものと見込まれ、売上、利益面ともに改善するものの、前年度実績比では、大幅な減収また営業損失予想としている。
3. 我が国経済は世界同時不況から回復しつつあるものと見込まれるが、個人消費および設備投資が低水準で推移しているほか、円高等先行き不透明感が強いため、業績予想は「暫定値」としている。

28 事業の種類別セグメント情報(連結売上高予想)

(単位:百万円・%)

事業区分	2009年 3月期	2010年 3月期 (予 想)	増 減	増減率	2009年 9月期
製品事業部 関連事業	21,068	18,520	△2,548	△12.1	8,497
加工・電機 関連事業	19,249	13,000	△6,249	△32.5	5,226
賃貸事業他	528	480	△48	△9.1	243
合 計	40,846	32,000	△8,846	△21.7	13,968

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

29 事業の種類別セグメント情報(連結営業利益予想)

(単位:百万円・%)

事業区分	2009年 3月期	2010年 3月期 (予 想)	増 減	増減率	2009年 9月期
製品事業部 関連事業	1,818	970	△848	△46.6	358
加工・電機 関連事業	1,368	△1,220	△2,588	—	△947
賃貸事業他	320	350	30	9.4	182
合 計	3,507	100	△3,407	△97.1	△406

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

30 連結設備投資額

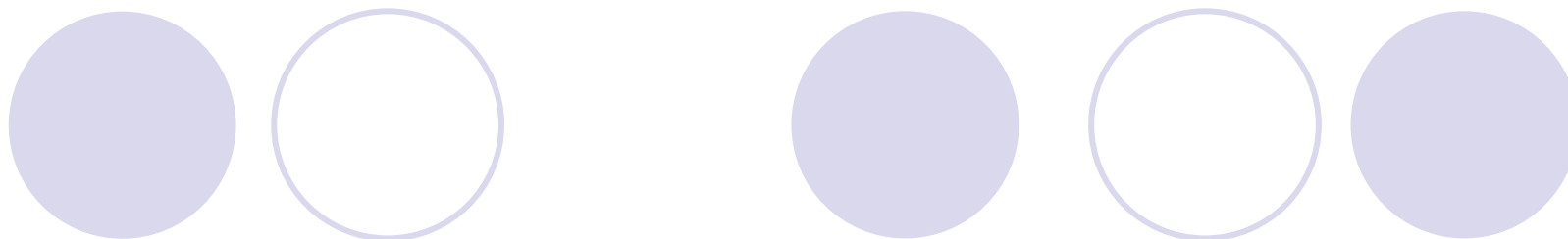
(単位:百万円)

	2008年 3月期	2008年 9月期	2009年 3月期	2009年 9月期	2010年 3月期 (予 想)
設備投資額	4,291	2,097	4,382	2,284	2,800
減価償却費	2,763	1,547	3,151	1,448	3,000

31 2010年3月期 経営上の課題

以下の財務・資本政策を実行する。

1. 資産・資本効率の向上 (ROA・ROEの改善)	
(1) 資産圧縮策の実行	<ul style="list-style-type: none">○ 保有意義を吟味のうえ、有価証券の売却○ 棚卸資産等の圧縮
(2) 資本政策の実行	<ul style="list-style-type: none">○ 適切な配当政策の実行○ 機動的な自己株式取得
2. 資産の有効活用	<ul style="list-style-type: none">○ 選別的設備投資およびR&D投資○ 内外投資の早期回収
3. 時価総額の増加	<ul style="list-style-type: none">○ 経営効率化の遂行○ IR活動の継続・強化○ 内部統制, コンプライアンス, CSRの強化
4. 企業価値の向上	<ul style="list-style-type: none">○ 企業価値向上および株主重視経営実践○ コア株主との戦略的連携強化○ 適切な買収防衛策の運用
5. 第11次中期経営計画の策定	<ul style="list-style-type: none">○ 経営環境が激変するなか、経営改革を断行し、企業価値を回復、改善する。



(注)当資料に記載の将来に関する予想数値は、公表時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。